

# 平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行事名称	鶴林寺消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	平成28年1月24日（日）8：30～9：00
実施場所	国宝鶴林寺本堂ほか（兵庫県加古川市加古川町北在家424）
主催者	鶴林寺、加古川中央消防署

## ■実施内容

### 訓練の想定

「平成28年1月24日（日）午前8時30分頃、国宝建造物2棟を含む国指定重要文化財6棟及び県指定木造建造物2棟のある鶴林寺境内の県指定文化財「三重塔」から出火、火災に気づいた鶴林寺関係者は、初期消火を試みるも折からの強風にあおられて火勢は拡大、参拝者が行方不明となる。また、激しい火勢は無数の火粉を巻き上げ、隣接する国宝「本堂」と重要文化財「常行堂」に延焼する危険が大きい状態である。」ことを想定。

### 訓練の内容

鶴林寺関係者による火災発見、通報、初期消火（放水銃）、避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による援護注水、参拝者の救出、仏像（模擬）の搬出、一斉放水訓練を実施。

### 参加者及び役割分担

鶴林寺自衛消防隊	7名：通報、初期消火、放水、避難誘導
鶴林寺関係者・地区住民	約15名：避難誘導
消防団（鳩里分団）	6名：放水訓練（出動車両1台）
中央消防署ほか消防署	26名：援護注水、参拝者の救出、仏像（模擬）の搬出、一斉放水訓練、講評（出動車両8台）
防災設備業者	2名：消火設備運転状況確認
加古川市（市長ほか）	2名：現場立会い、講評
加古川市教育委員会	2名：現場立会い

### 特に工夫した点

建造物の中には、過去の火災（放火）被害の痕跡が残っている。その時の関係者が、今回の消防訓練参加者に対して、その痕跡を示しながら当時のようすを説明し、火災被害が実際に発生し多くのものを失う怖さを認識してもらうよう努めていた。

### 問題点・課題

訓練や放水にはほとんど影響なかったが、点検により消火ポンプの部品の一部の不具合を確認することができ、応急修理を行うとともに、今後の、老朽設備の交換等整備計画を考える契機となった。

### その他

鶴林寺は、実際の火災や地震の災害や盗難被害を経験している関係者がいるため、防災設備が充実している。また、消火訓練に対する意識も高い。また、多数の文化財を所蔵し、文化財の見学のため、多くの来訪者がある。文化財の保存と公開という一部では相反することであるが、文化財を未来へつなぐために、文化財防火デーに係る消防訓練などの文化財保護のための行事はたいへん有効である。

### 訓練風景

